

一財)日陶連 技能評価試験
陶磁器工業製品製造 学科試験問題
パッド印刷作業 専門級

受験番号

1. 試験時間 … 1時間
2. 問題数 … 30題
3. 注意

(1) 試験問題には、受検番号を、答案用紙には 受検番号と名前を書きなさい。

(2) 答えは「正しい」、または「誤り」のどちらかです。

答え方は、答案用紙に解答例のように書きなさい。

① 答えが「正しい」と思ふ場合は、『○』を書きなさい。

② 答えが「誤り」と思ふ場合は、『×』を書きなさい。

(3) 分からないことがあったら、手を挙げて係りの人に聞きなさい。

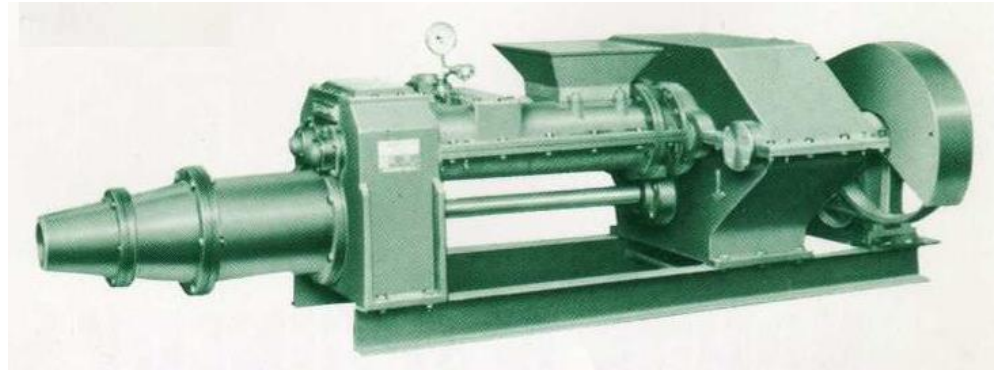
(4) 答案用紙の ※ のところには、何も書いてはいけません。

【解答例】

問題の番号	答え
1	○
2	×
3	○

もんだい
【問題】

1. ^{しゃしん}写真は、ボールミルである。



2. ^{しゃしん}写真は、ろくろ^{せいけい}成形である。



3. ^{しゃしん}写真は、^{ひた}浸しがけを^{ようす}している様子である。



4. 写真^{しやしん}は、カケ^{かり}の不良^{ふりょう}である。



5. 土器^{どき}は、吸水^{きゅうすいせい}性^{せい}がある。
6. 土器^{どき}、陶器^{とうき}、磁器^{じき}では、土器^{どき}が一番^{いちばん}焼成^{しょうせい}温度^{おんど}が高い^{たか}。
7. 吸水^{きゅうすいせい}性^{せい}とは、水^{みず}を吸^すい込むことをいう。
8. 土器^{どき}は、紀元前^{きげんぜん}5000年^{ねん}頃^{ごろ}からあった。
9. 陶磁器^{とうじき}の原料^{げんりょう}には、粘土^{ねんど}、長石^{ちょうせき}、珪石^{けいせき}、が主^{おも}に使^{つか}われる。
10. 可塑性^{かそせい}とは、粘土^{ねんど}の粒子^{りゅうし}同士^{どうし}が、スライドするから起^おこる。
11. 陶磁器^{とうじき}の焼成^{しょうせい}には、天然^{てんねん}ガス^がやLPG^がが使^{つか}われる。
12. 本焼^{ほんや}きの温度^{おんど}は、1200~1400℃である。
13. 使^{つか}うものと使^{つか}わないものを分^わけ、使^{つか}わないものをすてることを整理^{せいり}という。
14. 指^し示^じされた作^さ業^{ぎょう}の結果^{けっか}を上^{じょう}司^しに伝^{つた}えることを、連絡^{れんらく}という。
15. 乾^{かわ}いた原料^{げんりょう}の粉^{こな}や、陶磁器^{とうじき}の削^{けず}りくずを長^{なが}い間^{あいだ}吸^{つづ}い続^{つづ}けると「じん肺^{ばい}」になることがある。

16. パッド印刷は、ものの内側にも外側にも印刷できる。
17. シリコンパッドは、印刷する製品の形にあわせて、いろいろな形のものがある。
18. ワークに1色だけを印刷する機械を、多色機という。
19. 使用するシリコンパッドは、今まで使ったことがない新品であれば、清掃しなくてもよい。
20. 印刷機には非常停止ボタンがついているが、監督者の指示があるまで押しはいけない。
21. 機械の一部分だけを動かしたいときは、「手動・自動の切り替え」で「手動」を選ぶ。
22. 印刷後のワークの検査では、パッドと皿の中心があっているかどうかという、ズレの確認だけを行えばよい。
23. 印刷時の図柄のズレは、回転方向にもできることがある。
24. 絵具は顔料に水を加え、十分に練り合わせて作られている。
25. スキージブレードは、新品であれば研磨作業の必要はない。
26. パッド印刷に使われるパッドの材質は、シリコンゴムだけである。
27. パッド印刷機の印刷方法は、ワークは動かず、パッドが上下に動いて印刷する方法しかない。

28. 多色^{たしよく}パッド印刷^{いんさつ}では、ひとつのワークの^{えつ}絵付けに、^{すいせい}水性と^{ゆせい}油性の^{りょうほう}両方の^{えのぐ}絵具を
使用^{しよう}しても問題^{もんだい}ない。

29. 印刷^{いんさつ}に使用する銅板^{しよう}は、凸版^{どうばん}です。

30. パッド印刷^{いんさつ}に使うシリコンゴム^{つか}は、揮発性^{きはつせい}の高い有機溶剤^{たか}を使うと悪くなりやすい^{ゆうきようざい}。